

# 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)

## 平成 26 年度事業計画

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

### I. 活動方針

日本経済は、アベノミクスによる行き過ぎた円高の是正、株価の回復を受け、内需が堅調に推移しており、経済全体としてもゆるやかに拡大している。今後、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や海外景気の下振れリスクが指摘されてはいるものの、企業収益の改善を追い風に、日本経済は順調に拡大が継続と予想される。

一方、ITの世界では、潮流の変化が続いている。具体的には、クラウド・コンピューティングの本格的な普及、アプリケーションのパソコン/スマートフォン/タブレットのマルチデバイス化、IOT (モノのインターネット) の進展とビッグデータの活用拡大などである。

コンピュータソフトウェア協会は、こうした環境変化の中で、次世代の情報インフラを提供する通信企業やクラウド関連企業との連携を強化しつつ、オープン、フェア、グローバルの基本理念を掲げ、引き続き幅広い活動を展開していく。具体的には、パッケージソフトウェア品質認証制度等の事業活動の強化・拡充、U-22 プログラミング・コンテストの実施、研究会活動の活性化に重点を置きつつ、引き続きモバイル関連の新技術の研究、クラウドビジネスの課題解決、IT融合時代に向けた新しいソフトウェア・ビジネスやIT系ベンチャー企業の支援、IT人材の発掘と活用・育成、海外市場の新規開拓支援などの活動を継続していく。

#### ○ 平成 26 年度活動の重点事項

##### (1) 事業活動の強化・拡充

昨年 6 月に開始した「パッケージソフトウェア品質認証制度」(略称「PSQ 認証制度」)の普及・定着のため、認証取得製品のベンダーとともに積極的なプロモーション活動を実施する。また、P マーク審査事業および認定試験事業(CAD 利用技術者試験、会計ソフト実務能力試験)についても強化を進める。

##### (2) U-22 プログラミング・コンテストの実施

優れた才能をもった若者を発掘するために経済産業省が 34 年間実施してきたプログラミング・コンテストを、民間主催の「U-22 プログラミング・コンテスト」として引き継ぐこととなった(CSAJ は事務局)。協賛企業を協会の内外から募り、「U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会」主催のコンテストとして実施する。

##### (3) 研究会活動の活性化

研究会活動の活性化を図るため、平成 25 年度に会員が主体となって新しい研究会活動を始められる制度を創設し、その結果、4 つの新しい研究会が発足し、活発な活動が行われた。この成果を受け、平成 26 年度もこの制度を継続するとともに、既存の研究会についても新しい参加企業を募るなど活性化を図る。

なお、新入会員を増やすため、平成 26 年度も前年度に引き続き、既存会員の紹介の場合には入会金を免除するなどの入会促進キャンペーンを継続する。

## II. 協会の会務（定時総会・理事会・交流会等の開催）

### 1. 定時総会、理事会の開催

定時総会、理事会を以下の通り開催する。

○定時総会の開催（6月11日（水）10:00～11:30） 於：ホテルオークラ

○理事会の開催（年4回：5月14日（水）、9月10日（水）、12月10日（水）、3月11日（水））

### 2. 各種交流会・懇親会の開催

人的交流及びビジネスチャンスの拡大を目的に、以下の交流会等を開催する。

○総会懇親会（平成26年6月11日（水）） ※定時総会終了後に開催

○会員交流会（平成26年9月10日（水）） ※理事会終了後に開催 於：トスラブ山王

○賀詞交歓会（平成27年1月21日（水）） 於：帝国ホテル

## III. 委員会活動について

委員会は、業界または協会として行うべき活動と位置づけ、委員には、必要に応じて外部有識者等に委嘱し、ソフトウェア業界として発信すべき意見のとりまとめなどを行う。なお、協会が実施する事業活動に対する、事業性、公平性、継続性などを総合的に検討するために組織される委員会は、外部有識者等で組織し、事業ごとに別途設置する。

### 1. 総務委員会

委員長：和田 成史（㈱オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長）

国の施策などを見据え、必要に応じて政策提言等の意見を各委員会・研究会等から求め提案する。また、会員拡大に向けた施策などを含む協会全体の運営に関わる基本問題等を討議するほか、必要に応じて以下の準備会、ワーキンググループ等を設置し、具体的な検討を行う。

#### ●理事候補選定準備会

委員長：和田 成史（㈱オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長）

平成26年度の理事改選に伴い、理事・監事の選定方法や理事・監事の選定基準等の確認を行い、理事・監事候補者を選定し、総務委員会、理事会、総会へ推薦する。

#### ●試験関係検討WG

CAD利用技術者試験、会計ソフト実務能力試験の受験者拡大等に向けた検討WGを、総務委員会の下部組織として設置する。なお、CAD利用普及委員会、会計ソフト普及委員会は、平成25年度をもって終了とする。

#### ●企画WG

ソフトウェア業界の活性化を図るべく、ソフトウェア業界をアピールするための「情報発信の場」を企画立案・実行する企画WGを設置し、ソフトウェアに特化した展示会、CSAJソフトウェア大賞などの実施に向けた具体的な検討を行う。

－CEATEC JAPAN会場内にソフトウェアゾーン/テーマパビリオンを展開

－CSAJソフトウェア大賞（Software of the year）の検討

### 2. 政策委員会

委員長：荻原 紀男（㈱豆蔵ホールディングス 代表取締役社長）

副委員長：水谷 学（ピー・シー・エー㈱ 代表取締役社長）

コンピュータソフトウェア産業の健全な発展のための施策の検討等を行い、必要に応じて政府・関係省庁等へ政策提言を行う。また、政策提言などを検討する場として、勉強会や検討会を設置する。

### 3. 法務・知財委員会

委員長：杉原 佳堯（インテル㈱ 法務・渉外統括本部 渉外 兼 政府渉外 部長）

副委員長：平野 高志（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

副委員長：杉本 淳一（㈱コスモ・コンピューティングシステム 代表取締役）

IT企業の法務・知財に影響のある旬な話題やテーマについて、情報提供・情報共有・討議等を行う会合を定期開催する。また、国の施策等（法改正、ガイドライン、準則など）について、必要に応じて提言を行う。

#### 4. 人材委員会

委員長：山本 祥之（㈱インテリジェントウェイブ 代表取締役社長）

副委員長：宇野 和彦（㈱スキルメイト 代表取締役）

副委員長：木田 徳彦（㈱インフォテック・サーブ 代表取締役）

国の施策を鑑み、次世代高度IT人材育成を主なテーマに、IT業界が求める人物像やその育成方法について、情報収集および意見交換を行う。

#### 5. 国際委員会

委員長：豊田 崇克（ネクストウェア㈱ 代表取締役社長）

関係団体等との協力も得ながら、我が国ソフトウェア産業のグローバル化に向けた各種情報提供・情報交換等を行う。

○海外団体等の来日視察、在京公館（大使館等）主催交流会、関連団体（JETRO等）主催催事などについて対応。

○必要に応じた海外視察ツアー（現地集合形式）の企画・実施。

#### 6. 技術委員会

委員長：田中 啓一（日本事務器㈱ 代表取締役社長）

副委員長：山本 祥之（㈱インテリジェントウェイブ 代表取締役社長）

副委員長：小屋 晋吾（トレンドマイクロ㈱ 執行役員 統合政策担当）

副委員長：瀧 進太郎（BBソフトサービス㈱ 取締役 COO）

IT業界において関心の高い技術関連動向について、情報収集・情報提供等を行う。また、企業の枠にとらわれない技術者間交流を促進させる施策の検討・意見交換を行う。

#### 7. アライアンスビジネス委員会

委員長：田中 聡（㈱ミクロス ソフトウェア 代表取締役社長）

企業間の更なる提携強化に向けて、主催しているアライアンスビジネス交流会でのプレゼンテーション強化策（プレゼンテーション企業数やデモの展示方法の見直し）を検討する他、参加企業の経営層などに向けた特別講演を企画し、運営を行う。

### IV. 研究会活動について

会員企業からの提案等により会員企業が主体性をもって自由に活動する研究会を設置する。研究会は、主査(会社)が中心となって活動するもので、会員向けの情報発信や予算が発生する場合は、事務局がサポートする。平成26年度に継続する研究会は以下の通り。

なお、新たな提案等による研究会の設置については、会員企業(事務局含む)が、活動計画・予算案を作成・申請し、予め理事会の承認を得ることが必要。

#### 1. アジアビジネス研究会

主査：竹原 司（㈱デザイン・クリエイション 最高顧問）

アジア地域でのIT市場の状況を調査・研究し、日本のITビジネスのアジア展開に関する知見を深め、実ビジネスに結び付く各種活動を行う。

・年間2～3回程度の海外視察を行う。

・海外視察報告会およびアジアビジネスに関する講師を招へいしてのセミナーを年間3～4回程度行う。

#### 2. モバイルソリューション研究会（名称変更：旧モバイル技術研究会）

主査：田中 啓一（日本事務器㈱ 代表取締役社長）

最新のモバイル環境を含むマルチプラットフォームで稼働するアプリケーション開発を行うためのWeb、Nativeを含む様々な技術について、研究・調査・情報配信を行う。

・モバイルデバイス関連技術の最新動向に関するセミナー/説明会/勉強会の開催（CEATEC JAPAN 2014での企画セッション・HP上でのモバイル関連情報のポスト含む）

・アプリケーション開発プラットフォーム（クロスプラットフォーム開発技術を含む）の試用環境を提供（技術者対象）

・技術者を対象とした海外視察ツアーの企画検討

### 3. セキュリティ (BYOD) 研究会

主査：小屋 晋吾 (トレンドマイクロ(株) 執行役員 統合政策担当)

BYOD を企業で導入し、有効活用するための施策を検討・研究する。

- ・積極的に BYOD を活用する事例・ケースの情報収集・情報共有を行う。
- ・私物と会社支給の混在環境における BYOD 活用の調査研究・情報交換を行う。
- ・BYOD に関するセミナー・勉強会の企画・開催を行う。

### 4. クラウドビジネス研究会

主査：松田 利夫 (㈱きっとエイエスピー 代表取締役社長)

クラウドサービス流通促進のためのエコシステムモデルの企画・検証・提案、およびメンバー各社によるクラウドサービス事業の協業支援を行う。

- ・クラウドサービス流通促進のためのエコシステムモデルの企画・検証・提案を行う。
- ・CSAJ メンバー各社のクラウドビジネス推進のための提携・協業支援の場を提供する。
- ・他団体との交流を広めて、エコシステムモデルの啓蒙・普及活動を行う。

### 5. 人材育成研究会

主査：宇野 和彦 (㈱株式会社スキルメイト 代表取締役)

IT 融合人材、グローバル人材、中高年 IT 人材の活用などをテーマに、引き続き IT 業界が求める人物像やその育成方法について、情報収集および意見交換を行い、その成果を求めるワークショップの推進や産学連携も視野に入れた活動を継続する。

- ・CCSF や人材育成手法の勉強会に関する合宿の実施、内定者向け研修の実施
- ・経済産業省 貿易経済協力局技術協力課が支援する「実践的 IT 教育プログラム構築」(貿易投資促進事業) での、ミャンマーにおける IT 人材育成 (専門家派遣) への協力予定 (経済産業省商務情報政策局情報処理振興課と独立行政法人情報処理推進機構/IPA の協力のもと研究会でグローバル人材/中高年 IT 人材の活用につなげたい)

### 6. 経営力向上研究会

主査：山田谷 勝善 (経営創研(株) 代表取締役)

会員およびその候補企業に対して、経営力向上の一助となる活動を行う。

- ・経営力の向上を目指して、各種支援 (経営、事業の改革・改善など) 活動を行う。
- ・経営力向上を目的としたセミナー (交流・親睦含む) を企画・開催する。
- ・経営相談ができるスキーム (経営相談会の開催や Web からの相談窓口設置等) を検討する。

### 7. データサイエンティスト育成研究会

主査：昆 凡子 (㈱シムコス 会長)

平成 25 年度の成果を基に情報サービス業界視点で捉えたデータサイエンティスト育成のための具体的な教育プログラムの開発を目指す。育成プログラムは、情報関連部門の人材がデータサイエンティストとして、企業経営や事業に対し、積極的にアプローチし利益貢献できる人材を育成するためのものとして開発する。併せてデータサイエンティスト事例集をとりまとめる。

### 8. ビッグデータ・オープンデータ活用研究会

主査：江端 俊昭 (ワークブレイン・ジャパン(株) 管理本部長)

”ビッグデータ・オープンデータ”に着目し、先進的アプリケーション事例やアイデアの収集、種々の実証実験活動を通して、その有効活用と活用に伴う知識・スキルの研究を行うとともに、その活動成果を効果的に発信することで、会員企業はもとより地域の情報サービス事業者の事業企画の創出およびデータ活用人材の育成に寄与する。

### 9. 消費税問題研究会

主査：石井 茂 (ソフトバンク BB 株式会社 財務統括財務経理本部 BB 経理部兼主計部 担当部長)

コンピュータソフトウェア業界の健全な発展を維持するため、消費税率引上げに伴う税制改正における商取引上の懸念点の共有とその実務的な対応の検討及び商取引の混乱の回避を目的とする政策提言案のとりまとめを行う。

## 10. その他の研究会

上記以外に会員からの要望により新たなテーマで発足する研究会

## V. 業界関連および会員支援活動等

### 1. 情報システム取引者育成協議会への協力

経済産業省公表の「情報システム・モデル取引・契約書（追補版）」をもとに、情報システム取引で生じるリスクやトラブルを防ぎ、公正な契約に必要な法務、契約実務の知識を有する者を育成し、信頼性の高い情報システムの構築に寄与するための教育プログラムを実施する「情報システム取引者育成協議会（主催：CSAJ・一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会（JCSSA）」の運営に協力する。

- 契約検討委員会（委員長：板東 直樹／アップデートテクノロジー(株)代表取締役社長）  
経済産業省公表の「情報システム・モデル取引・契約書（追補版）」をもとに作成されたモデル取引・契約書、重要事項説明書、ガイドライン等に係る普及推進のための検討を行う。
- 情報システム取引者育成協議会の URL <http://www.system-tr.jp/>

### 2. CEATEC JAPAN 2014 関連業務

平成 26 年 10 月 7 日（火）～10 月 11 日（土）までの 5 日間、幕張メッセで開催する「CEATEC JAPAN 2014」について、共同で主催する一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）とともに、本イベントの企画・広報活動等の運営を行う。また、CSAJ 特別企画としてコンピュータソフトウェア関連コンファレンスや特別企画展示の企画・運営を行う。

#### <CEATEC JAPAN 2014 開催概要>

会期：10 月 7 日（火）～11 日（土） 会場：幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬 2-1）  
テーマ：未定

- CEATEC JAPAN 実行委員会（3 団体の会員企業で組織）

### 3. U-22 プログラミング・コンテスト実施関連委員会（新規）

#### 1) U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会（平成 25 年度より活動）

委員長：青野 慶久（サイボウズ(株) 代表取締役社長）

優れた才能を持った若者を発掘・育成するため、平成 26 年度から CSAJ の新事業として実施する「U-22 プログラミング・コンテスト」を主催し、運営、予算執行等の意思決定を行う。また、下部組織に企画ワーキンググループを設け、応募要領、広報活動等の骨子案を検討する。

#### 2) U-22 プログラミング・コンテスト審査委員会（平成 26 年度新設）

委員長：小泉 カー（尚美学園大学 芸術情報学部 情報表現学科 教授）

U-22 プログラミング・コンテストにおける審査方法の検討および、応募作品の審査を行う。

※U-22 プログラミング・コンテストは、経済産業省が平成 25 年度まで主催していた事業「U-20 プログラミング・コンテスト」の歴史を引き継ぐコンテストで、平成 26 年度より民間に移行となり、「U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会」を主催とし、年齢を 22 歳以下に拡大、その運営事務局を CSAJ が請け負う。

### 4. CSAJ 設立 30 周年記念事業実行委員会（平成 26 年度新設）

委員長：竹原 司（(株)デザイン・クリエイション 最高顧問）

当協会は、1986 年（昭和 61 年）2 月 19 日に、当時の通商産業省（現経済産業省）の社団法人設立認可を受け、30 年目を迎える 2015 年 6 月の総会開催に合わせ 30 周年記念事業を企画するため、委員会を組織し具体的な検討を行う。

### 5. ビジネス・サポート・プログラム（BSP）

会員企業のビジネス支援やコンプライアンス等に関するセミナーや説明会を企画するとともに、会員間のコミュニケーションを活性化するイベント等も企画実施する。

- 経営者セミナー（会期：10 月頃、開催地：福島県会津若松市を予定）
- 各種セミナー・説明会等（適宜開催）
- 各種会員コミュニケーション広場の企画実施（適宜開催）

## 6. 協会運営関連業務(必要に応じて事務局内に WG を設置し、具体的な内容を検討、実施する)

- 関係省庁・関連団体などとの協力活動
- 各種 Web、E-mail、SNS による情報提供
- 協会広報活動の活性化
- 会員の維持・拡大(「会員拡大キャンペーン」は平成 26 年度も継続)
- 委員会・研究会・セミナーなどの開催に関する事務局業務
- 協会事務局運営業務
- 会員企業業態・ニーズ調査の実施
- 事務局内ネットワークシステムの構築・維持・管理
- 一般社団法人コンピュータ教育振興協会(ACSP)の経理およびシステム管理等の受託

## VI. 認定試験事業

CSAJ が主催、一般社団法人コンピュータ教育振興協会(ACSP)と共催する「平成 26 年度 CAD 利用技術者試験」および「会計ソフト実務能力試験」を以下の通り実施する。なお、認定試験事業に付随した委員会(CAD 普及委員会、会計ソフト普及委員会)は、平成 25 年度をもって活動を終了し、試験事業の普及活動等については、総務委員会傘下の試験事業検討 WG(仮称)に引き継ぐ。

### 1. CAD 利用技術者試験の実施予定

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| 1) 1 級試験(機械、建築、トレース)                 | 前期試験日:平成 26 年 06 月 22 日(日)<br>後期試験日:平成 26 年 11 月 09 日(日) |
| 2) 2 級試験(CBT:Computer Based Testing) | 随時実施(年間)   |
| 3) 基礎試験(IBM:Internet Based Testing)  | 随時実施(年間)   |
| 4) 3 次元試験(1 級・準 1 級・2 級)             | 前期試験日:平成 26 年 07 月 20 日(日)<br>後期試験日:平成 26 年 12 月 14 日(日) |

### 2. 会計ソフト実務能力試験の実施予定

- 1) 1 級試験 前期試験日:平成 26 年 9 月 28 日(日)  
後期試験日:平成 27 年 2 月 15 日(日)  
団体向け特別試験の実施(年間)
- 2) 全国連向け特別試験  
全国商工会連合会職員を対象とした、特別試験の実施(日程は未定)

## VII. プライバシーマーク審査事業

一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)の審査・指定を受けて、プライバシーマーク指定審査機関(有効期間:平成 25 年 7 月 24 日~平成 27 年 7 月 23 日)として、8 年目になる平成 26 年度は、CSAJ の正会員及び準会員を対象にプライバシーマーク審査事業等を実施する。

### 1. プライバシーマーク審査判定委員会

委員長:水越 尚子(エンデバー法律事務所 弁護士)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、第三者機能的な位置づけとして、CSAJ のプライバシーマーク審査員が実施した審査結果(文書審査及び現地審査)に基づいて、プライバシーマークの付与適格性審査を行う(全委員の氏名、開催日程などは非公開)。また、同委員会では、付与事業者等の個人情報事故報告に対する措置を審議・決定する。

### 2. CSAJ における審査事業

- 1) 審査目標 更新 54 社+新規 8 社=合計 62 社  
※平成 26 年度は更新申請件数が少ない“裏の年”のため、審査目標は低めに設定。
- 2) 組織体制 室長 1 名(職員)+外部審査員 5 名(業務委託)=6 名(主任審査員 4 名、審査員 2 名)  
※営業、相談対応、受付事務、委員会運営、JIPDEC 報告などの業務は、室長が兼務。

### 3. 広報活動・営業活動

\*パンフレット(申請手続きガイドブック)の改訂・配布

- \* 各種セミナー等の企画・開催
- \* 「個人情報保護基本規程」「個人情報保護安全対策管理規程」の雛型の提供（Web サイト）
- \* 「個人情報管理台帳」「リスク分析表」などの参考資料の提供（セミナー等での配布）
- \* 個別相談会の実施（随時、無料）
- \* CSAJ から申請検討中事業者へのコンサルティング事業者の紹介
- \* コンサルティング事業者からの申請事業者の CSAJ への紹介
- \* 個別訪問営業

## VIII. パッケージソフトウェア品質 (PSQ) 認証事業

平成 25 年 6 月に CSAJ が認証機関となって事業を開始したパッケージソフトウェア品質 (PSQ) 認証制度について、2 年目となる平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月は以下の通り認証事業を実施する。

### 1. PSQ 認証関連委員会

#### 1) PSQ 認証制度委員会

委員長：藤井 洋一（日本ナレッジ㈱ 代表取締役）

国産パッケージソフトウェアの品質が世界で通用することを証明する活動として、ISO/IEC25051 (JISX25051) に準拠した『品質認証制度』の維持・継続に向けた制度運用の改善を推進する。

#### 2) PSQ 技術委員会

委員長：福島 満（㈱OSK 品質保証部部长）

副委員長：小川 敦（㈱アール・アイ 代表取締役）

#### 3) PSQ 判定委員会

委員長：東 基衛（早稲田大学名誉教授）

#### 4) PSQ 公正性委員会(新設 委員長：未定)

### 2. パッケージソフトウェア品質認証事業

本事業は、ある一定数の認証件数を確保していくことにより、更新やバージョンアップでの認証手数料も見込めるため、将来的には安定した収入が得られるものとする。

制度の公正な運用および適正評価に注力した初年度に続き、2 年目は、ISO/IEC25051 の改定に伴う SaaS 対応を進め認証範囲を拡大するとともに、より多くの製品に認証を与え実績を重ねるべく、営業活動と認知向上に努める。

1) 認証件数目標 年間 50 製品

2) 組織体制 認証室長 1 名 + 認証室長補佐 1 名 + 認証要員 1 名 = 計 3 名によって、営業、相談対応、受付事務、委員会運営などを行う。

### 3. マーケット開拓と実績作り

2 年目となる平成 26 年度は、数多くの製品認証を行い、実績作りと市場の開拓が重点課題である。

- ① 大手ベンダーへの取得促進
- ② 理事/会員企業への認知促進
- ③ 他団体 (JISA、JCSSA、MIJS 等) との連携強化
- ④ 全国展開 = 地域ソフトウェア協会へのアプローチ (ANIA 等)
- ⑤ 初期認証企業への CM および広告連動協力依頼

### 4. 中長期アクションプラン

申請促進活動と並行して、下記のような中長期計画を実施していく。なお、一部前倒しできることは実施していくものとする

- ① 国際相互承認（韓国/フランス/マレーシア）
- ② 認証取得メリットの充実
- ③ 外部支援団体の充実
- ④ 実績をもとに保険減額や政府調達など認証取得のメリットを増やしていく
  - ※実績をもとに各損害保険会社へのアプローチ（保険料の割引対象化）
  - ※企業・公官庁の入札時の品質基準としてもらえるようにアプローチ（政府調達）

## 5. 広報活動・営業活動

- \*パンフレット、ポスター、申請者ガイドブックの制作、配布
- \*各種展示会出展、セミナー等の企画・開催
- \*P S Q認証制度の各種申請書類や規程類の提供および認証制度の普及告知（Web サイト）
- \*個別相談会の実施（随時、無料）
- \*個別訪問営業

## X. 年間スケジュール

年月	会合・交流会・事業等	開催概要
2014年(平成26年)		
4月	( 1日) 新年度スタート (16日) 委員会・研究会活動成果報告会 (23日) アライアンスビジネス交流会	<p>■委員会・研究会成果報告会(4月) 委員会・研究会の前年度活動報告と新年度の活動計画が紹介され、研究会参加メンバーの登録が開始されます。</p> <p>■アライアンスビジネス交流会(4月、6月、7月、9月、11月、2月) 最新情報セミナー、自社の製品を紹介する場そして他社のアライアンス製品を探す場となるプレゼンテーション、立食形式の名刺交換会の3部で構成される交流会を年6回開催します。</p>
5月	(14日) 理事会	<p>■理事会(5月、9月、12月、3月) 協会の業務執行等を決定する理事会は、年間4回開催します。</p>
6月	(11日) 総会・懇親会 (18日) アライアンスビジネス交流会 (22日) CAD利用技術者 前期試験	<p>■総会(6月) 平成25年度の事業報告と決算報告等が建議されます。また、平成26年度は理事・監事の改選となりますので、候補者が建議され、新たな役員体制が決まります。</p>
7月	(16日) アライアンスビジネス交流会 (20日) 3次元CAD利用技術者 前期試験	<p>■総会後の懇親会(6月) 会員企業の皆様の他、経済産業省をはじめとした関係省庁・団体の方々が参加され、300名以上が一同に会する立食パーティです。多くの方々との交流が可能となります。</p>
8月	( 1日) 夏期休暇 ( 8日)     " (15日)     " (22日)     "	<p>■CAD利用技術者試験(6月、11月) CADを利用した知識・スキルを明確化し、一定水準に達している受験者に対して評価・認定する試験です。</p>
9月	(10日) 理事会 (10日) 会員交流会 (17日) アライアンスビジネス交流会 (28日) 会計ソフト実務能力試験 前期試験	<p>■3次元CAD利用技術者(7月、12月) 3次元CADシステムの正確なオペレーション、図面の読図能力、周辺知識とその応用力を評価する試験です。</p> <p>■夏期休暇(8月) 節電対策の一環として、8月の金曜日を夏期休暇としています。</p>
10月	(06日) U-22プログラミングコンテスト表彰式 ( 7日～11日) CEATEC JAPAN 2014 (調整中) 経営者セミナー	<p>■会員交流会(9月) 日頃協会活動にご協力いただいているご担当の方々が参加する気さくな立食パーティです。</p>
11月	(初旬～中旬) 会員業態・ニーズ調査 ( 9日) CAD利用技術者 後期試験 (26日) アライアンスビジネス交流会	<p>■会計ソフト実務能力試験(9月、2月) パソコン財務会計システムに関する正しい知識と実務能力を認定します。</p> <p>■U-22プログラミングコンテスト表彰式(10月) 協会が運営事務局となって開催している「U-22プログラミングコンテスト」の表彰式が、情報化月間記念式典にあわせて開催されます。</p>
12月	(10日) 理事会 (14日) 3次元CAD利用技術者 後期試験 (26日) 仕事納め	<p>■CEATEC JAPAN(10月) アジア最大級のITとエレクトロニクスの総合展示会「CEATEC JAPAN」は14年目を迎えます。製品発表など貴社のPRの場としてご利用いただけます。</p>
2015年(平成27年)		
1月	( 5日) 仕事始め (初旬) 会員売上調査・登録内容確認 (21日) 賀詞交歓会	<p>■経営者セミナー(10月) 毎年恒例の経営者セミナーは、例年30名以上の経営者クラスの方々が参加し、各地域での産学連携によるセミナーと懇親会(1泊2日)で構成されます。</p> <p>■年末年始休業 12月29日～1月4日は、年末年始休業とさせていただきます。</p>
2月	(15日) 会計ソフト実務能力試験 後期試験 (19日) 協会設立記念日 (26日) アライアンスビジネス交流会	<p>■賀詞交歓会(1月) 会員企業の皆様の他、経済産業省をはじめとした関係省庁・団体の方々が参加され、500名以上が一同に会する立食パーティです。多くの方々との交流が可能となります。</p>
3月	(11日) 理事会 (31日) 年度終了	<p>■協会設立記念日(2月) 休業日とさせていただきます。</p>